

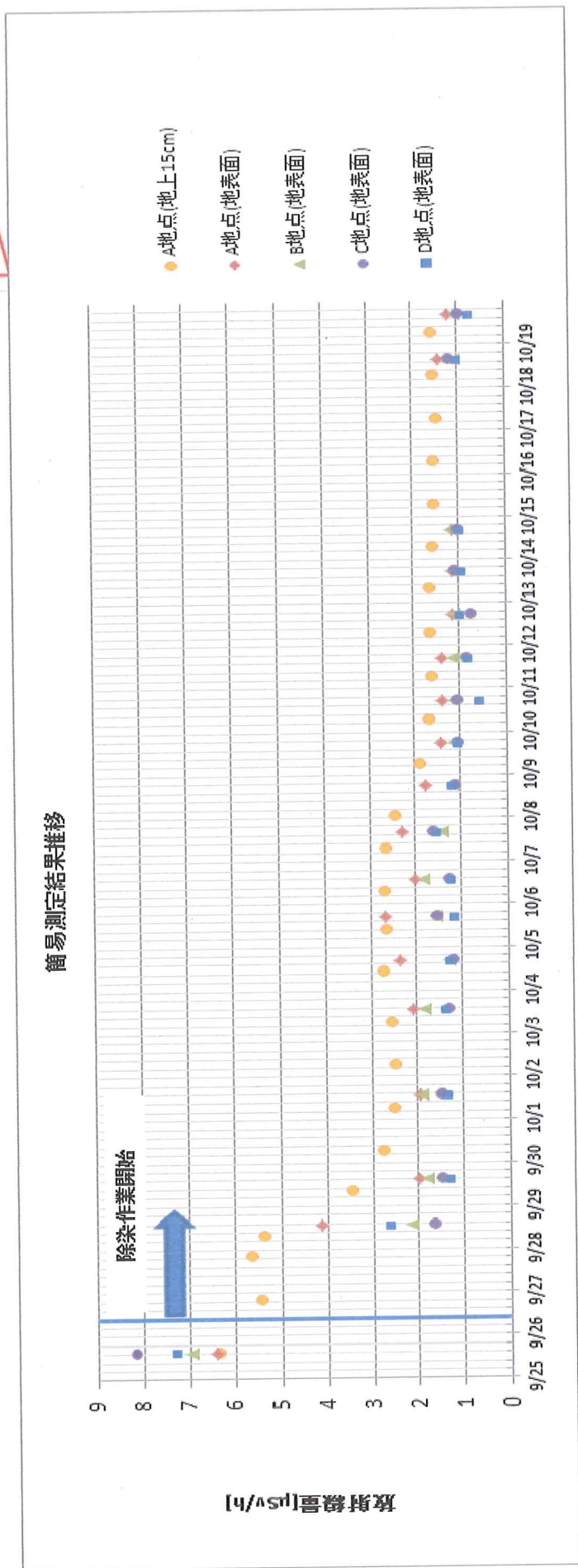
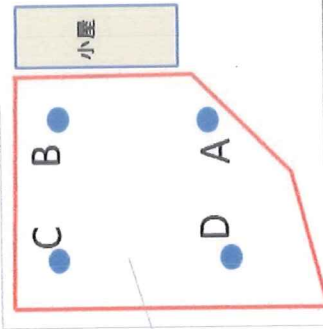
除染結果

現場作業実績

		9月											10月																											
		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19			
除染前準備	▽						▽																																	
	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオプラント設備搬入 ・現場杭打ち ・仕切り設置 ・草刈り ・カメラ設置 ・参考線量計設置 																																							
除染作業	▽						▽																																	
	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオプラント施工、仕込み ☆ ・除染前土壌採取 																																							
作業内容																																								
	<ul style="list-style-type: none"> ☆ ・土壌採取 																																							
天気																																								

- ◎作業サイクル2回実施
- 作業サイクル1回実施
- △作業サイクル一部実施
- ×作業なし

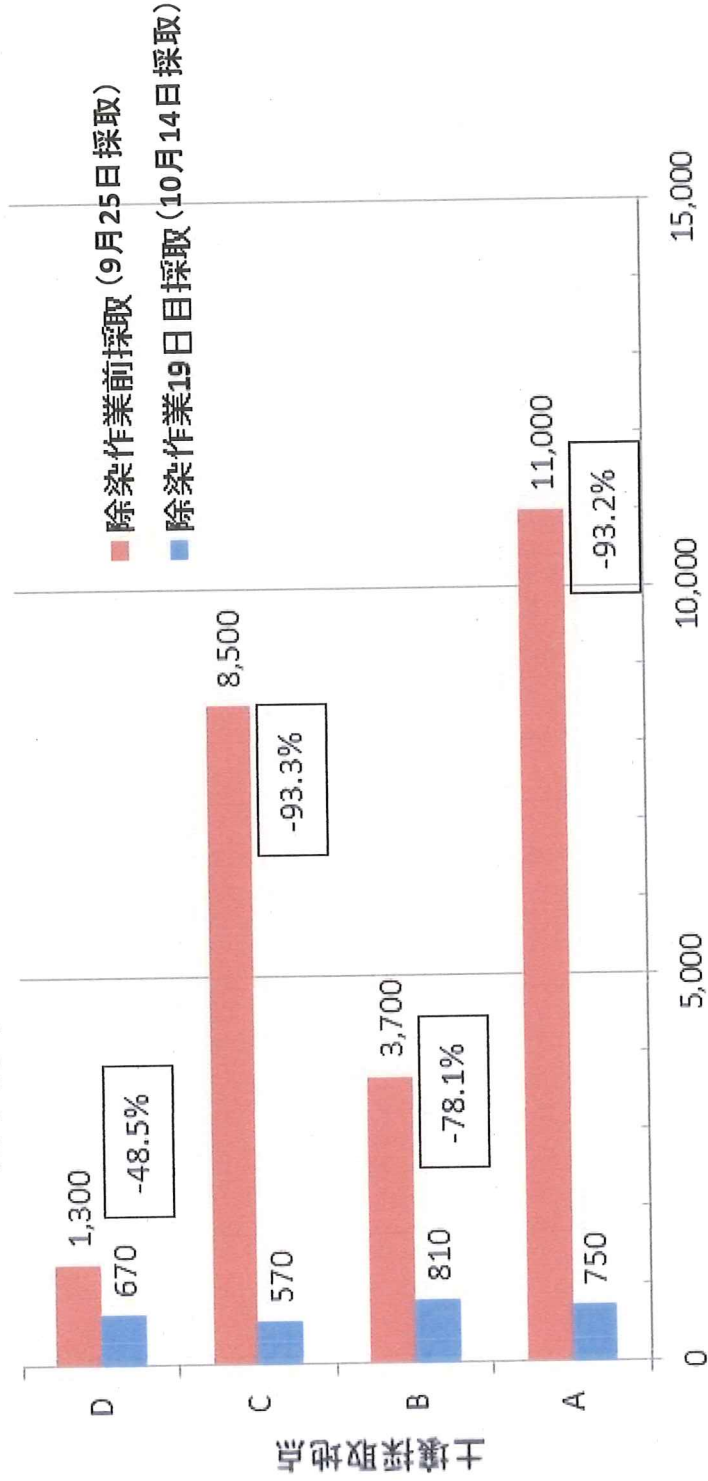
現場地表面の放射線量推移



A, B, C, D地点に関し、放射線量は1/4程度以下へ低下

土壌分析結果

放射性セシウム134(Cs-134)



放射性セシウム134(Cs-134) [Bq/kg]

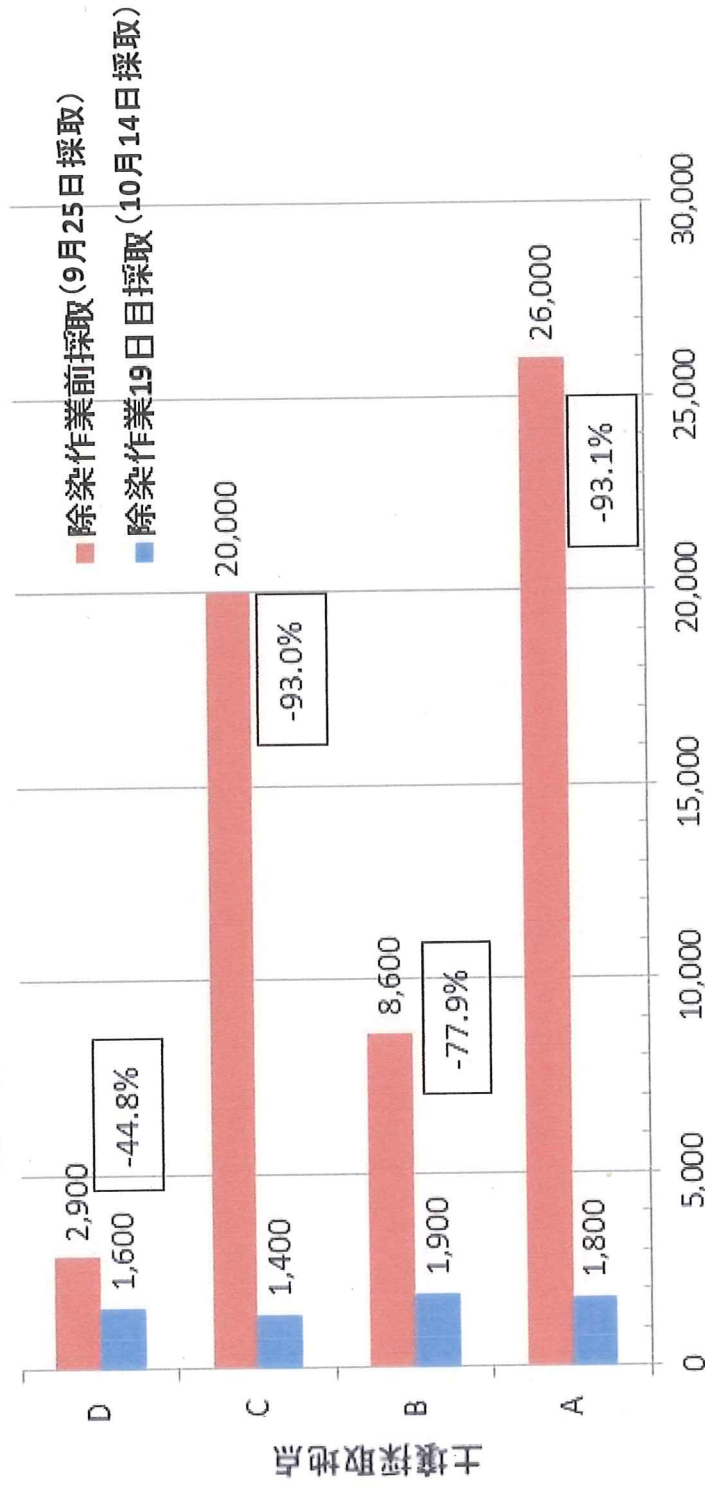
分析機関 一般財団法人 東海技術センター 土壌採取者 松原章五(東海プラント分析(株))
計測方法 土壌採取立会 梶田昌史(信州大学工学部技術部)

文部科学省放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメリー」及び、放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメリーのための試料前処理方法」に準ずる方法

ゲルマニウムスペクトル核種分析結果、放射性物質は1/2~1/14程度軽減^{2.5}

土壌分析結果

放射性セシウム137(Cs-137)



放射性セシウム137(Cs-137) [Bq/kg]

分析機関 一般財団法人 東海技術センター 土壌採取者 松原章五(東海プラント分析(株))
 計測方法 土壌採取立会 梶田昌史(信州大学工学部技術部)

文部科学省放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメリー」及び、放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメリーのための試料前処理方法」に準ずる方法

ゲルマニウムスペクトル核種分析結果、放射性物質は1/2~1/14程度軽減

土壌分析結果(分析原簿)

9月25日採取分(除染作業開始前日)

受付番号	試料名称	採取日時	測定容器	測定時間	測定結果(Bq/kg-生)					
					放射性ヨウ素131 (I-131)		放射性セシウム134 (Cs-134)		放射性セシウム137 (Cs-137)	
					測定結果	検出限界	測定結果	検出限界	測定結果	検出限界
東海技水第 13105244-001 号	対象地	2013/9/25 15:28	U-8	2,000	検出されず	55	6,500	47	15,000	40
東海技水第 13105244-002 号	地点A	2013/9/25 14:27	U-8	2,000	検出されず	68	11,000	61	26,000	51
東海技水第 13105244-003 号	地点B	2013/9/25 14:37	U-8	2,000	検出されず	40	3,700	35	8,600	30
東海技水第 13105244-004 号	地点C	2013/9/25 14:43	U-8	2,000	検出されず	62	8,500	57	20,000	48
東海技水第 13105244-005 号	地点D	2013/9/25 14:50	U-8	2,000	検出されず	25	1,300	25	2,900	19

※「検出されず」とは検出限界値を超えないことを示します。

《測定方法》

文部科学省放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリー」及び、放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理方法」に準ずる方法

10月14日採取分(除染作業開始19日目)

受付番号	試料名称	採取日時	測定容器	測定時間	測定結果(Bq/kg-生)					
					放射性ヨウ素131 (I-131)		放射性セシウム134 (Cs-134)		放射性セシウム137 (Cs-137)	
					測定結果	検出限界	測定結果	検出限界	測定結果	検出限界
東海技水第 13105586-001 号	実証地A	2013/10/14	U-8	2,000	検出されず	20	750	17	1,800	13
東海技水第 13105586-002 号	実証地B	2013/10/14	U-8	2,000	検出されず	20	810	18	1,900	15
東海技水第 13105586-003 号	実証地C	2013/10/14	U-8	2,000	検出されず	17	570	15	1,400	13
東海技水第 13105586-004 号	実証地D	2013/10/14	U-8	2,000	検出されず	18	670	16	1,600	14
東海技水第 13105586-005 号	対象地	2013/10/14	U-8	2,000	検出されず	89	8,900	83	20,000	71

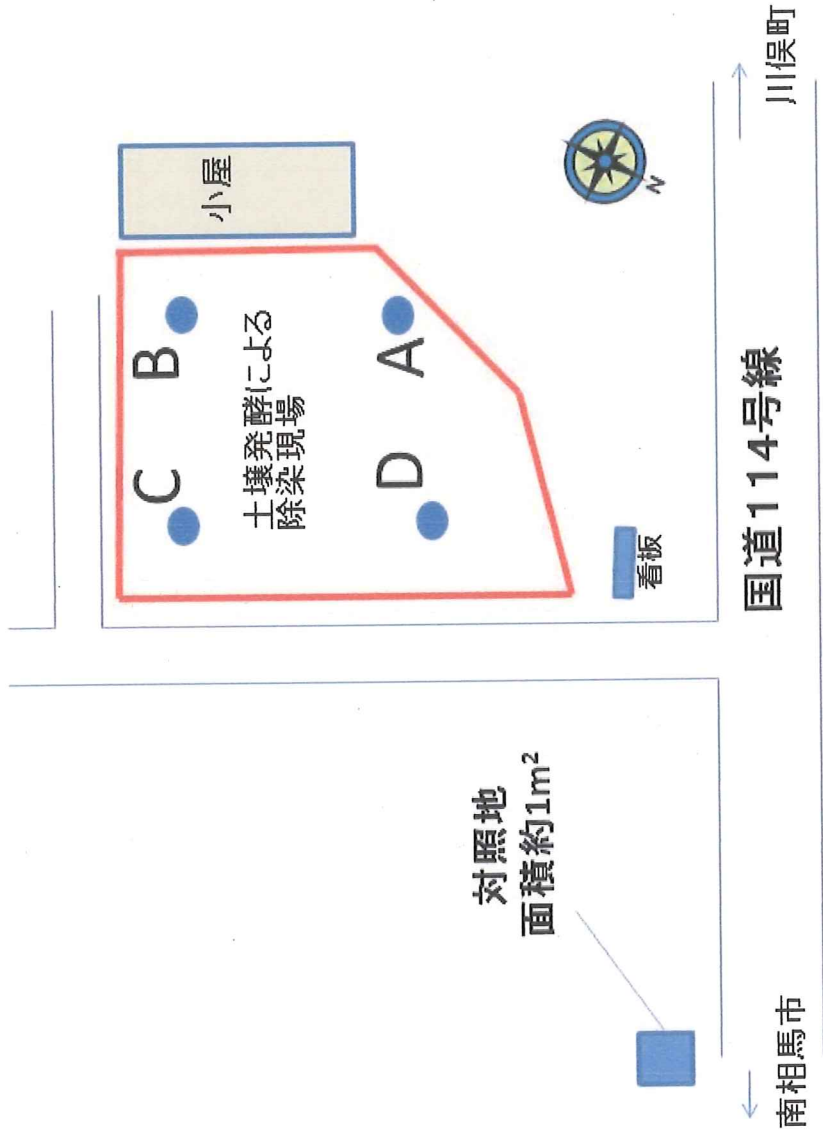
※「検出されず」とは検出限界値を超えないことを示します。

《測定方法》

文部科学省放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリー」及び、放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理方法」に準ずる方法

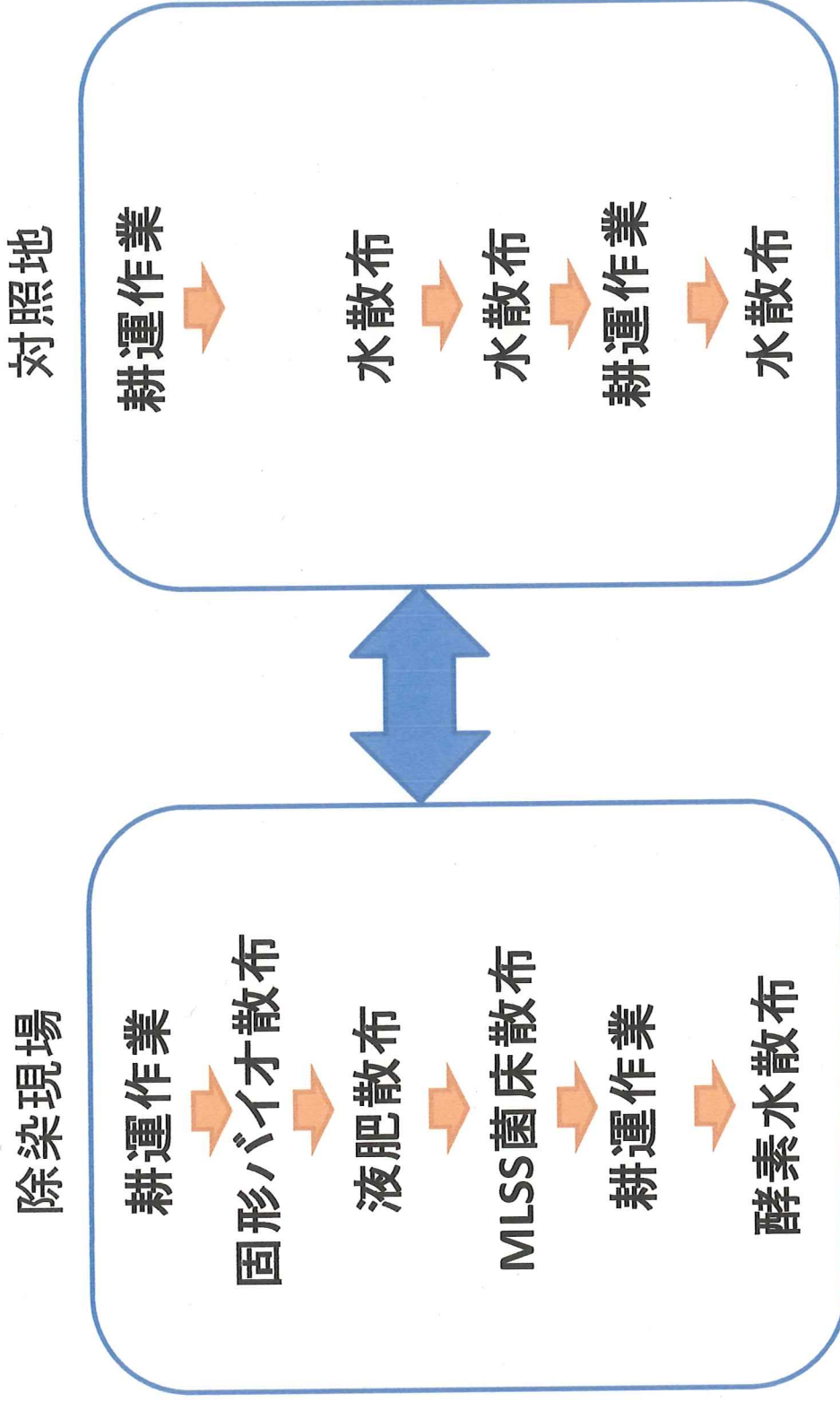
除染現場の対照地との比較結果

対照地の設定



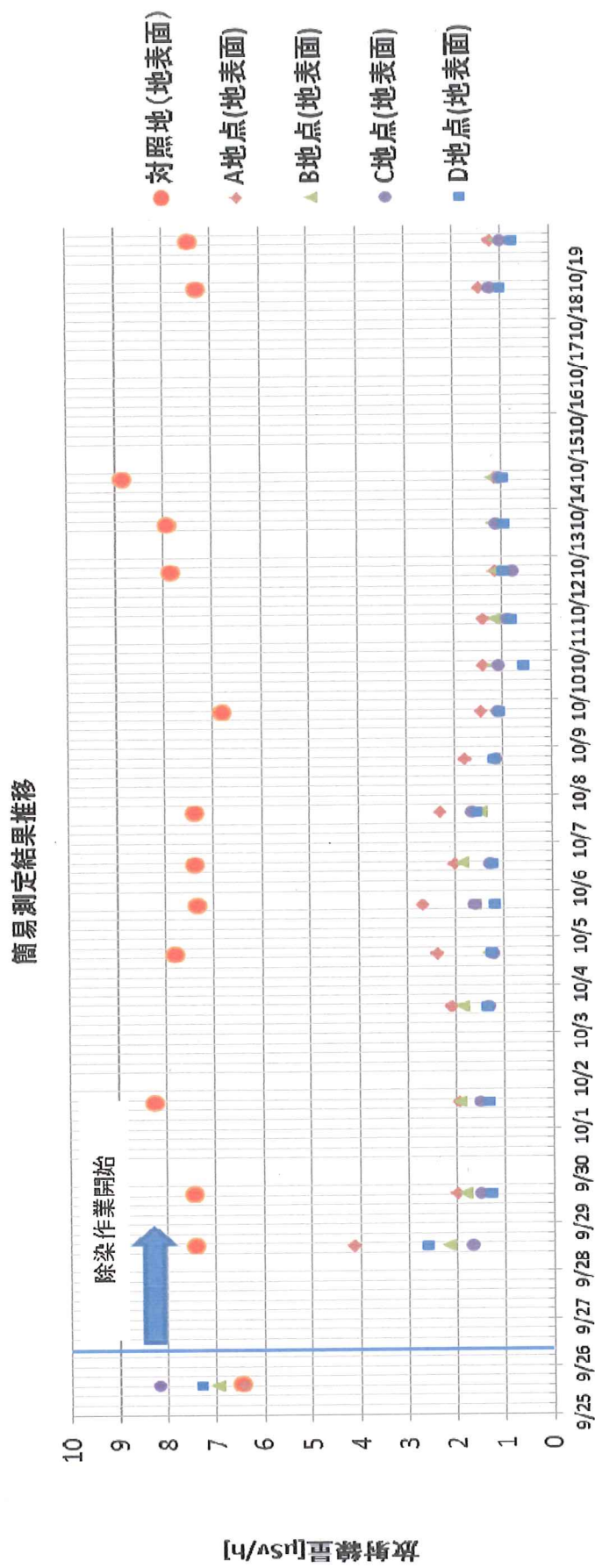
土壌発酵による除染現場近傍に対照地を設定

対照地作業サイクル



対照地では耕運作業および液体散布相当として水散布

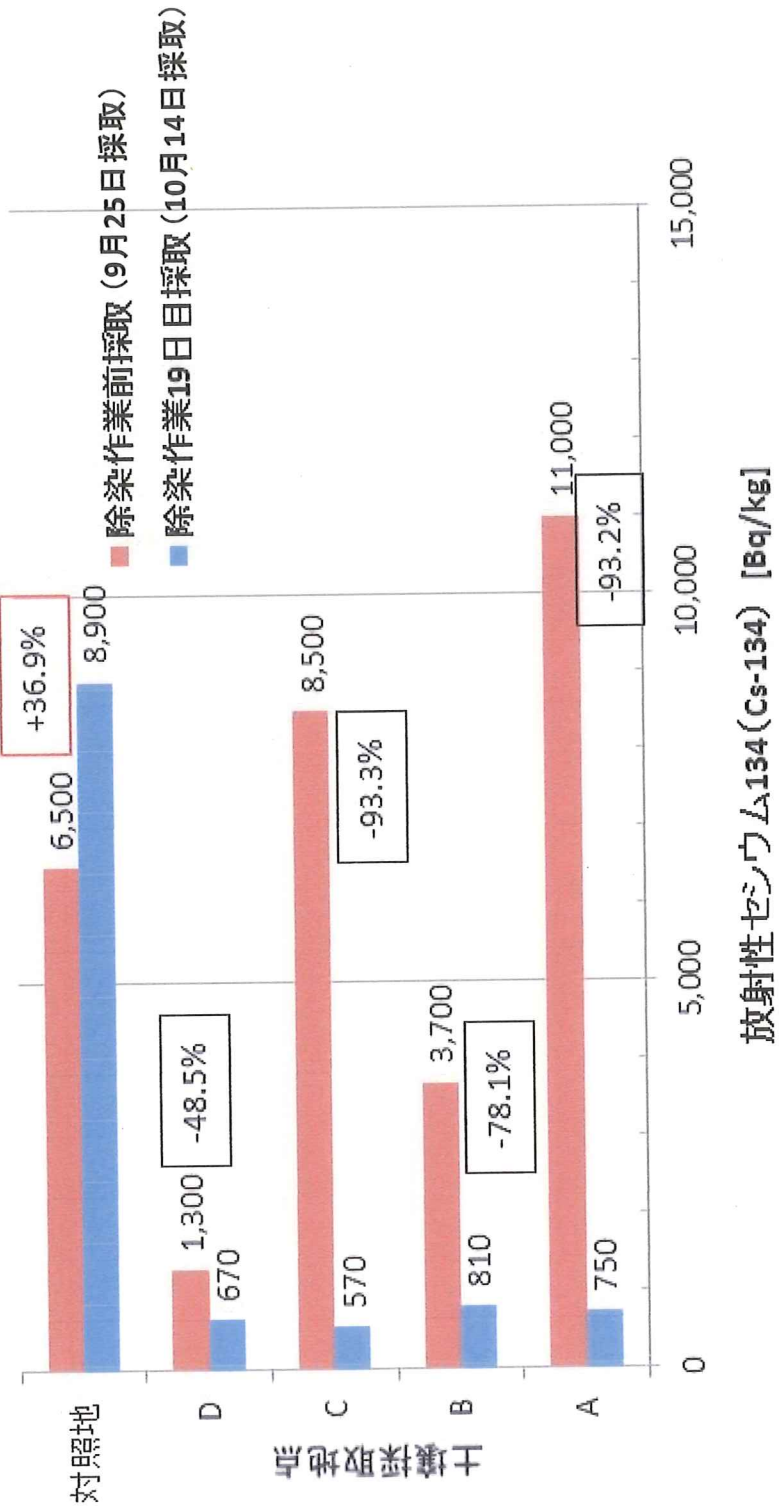
現場地表面の放射線量推移(対照地との比較)



対照地の放射線量は、除染現場内の様な低下はみられない

土壌分析結果(対照地との比較)

放射性セシウム134(Cs-134)



分析機関 一般財団法人 東海技術センター
計測方法

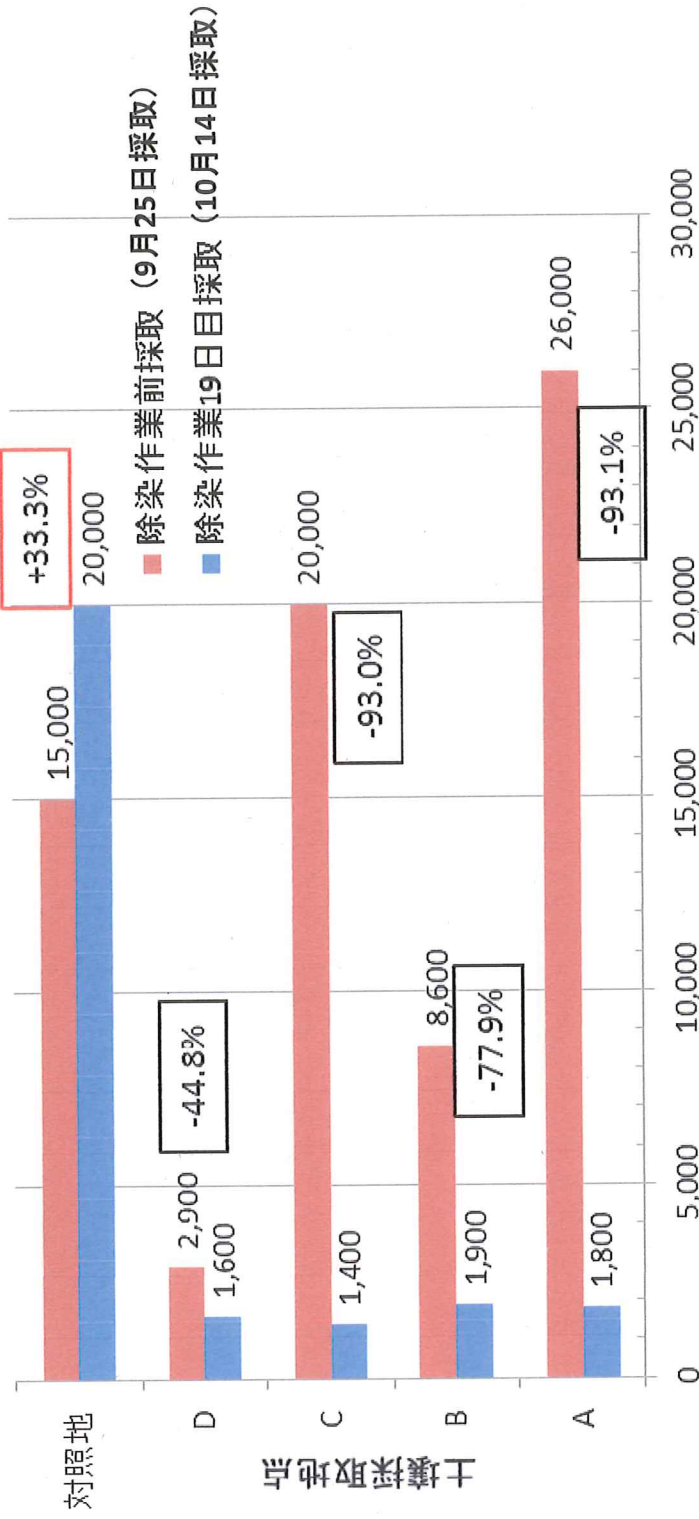
土壌採取者 松原草五(東海プラント分析(株))
土壌採取立会 梶田昌史(信州大学工学部技術部)

文部科学省放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリー」及び、放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理方法」に準ずる方法

ゲルマニウムスペクトル核種分析結果、対照地は除染現場内各地点の様な放射性物質量の軽減はみられない

土壌分析結果(対照地との比較)

放射性セシウム137(Cs-137)



放射性セシウム137(Cs-137) [Bq/kg]

分析機関 一般財団法人 東海技術センター
計測方法

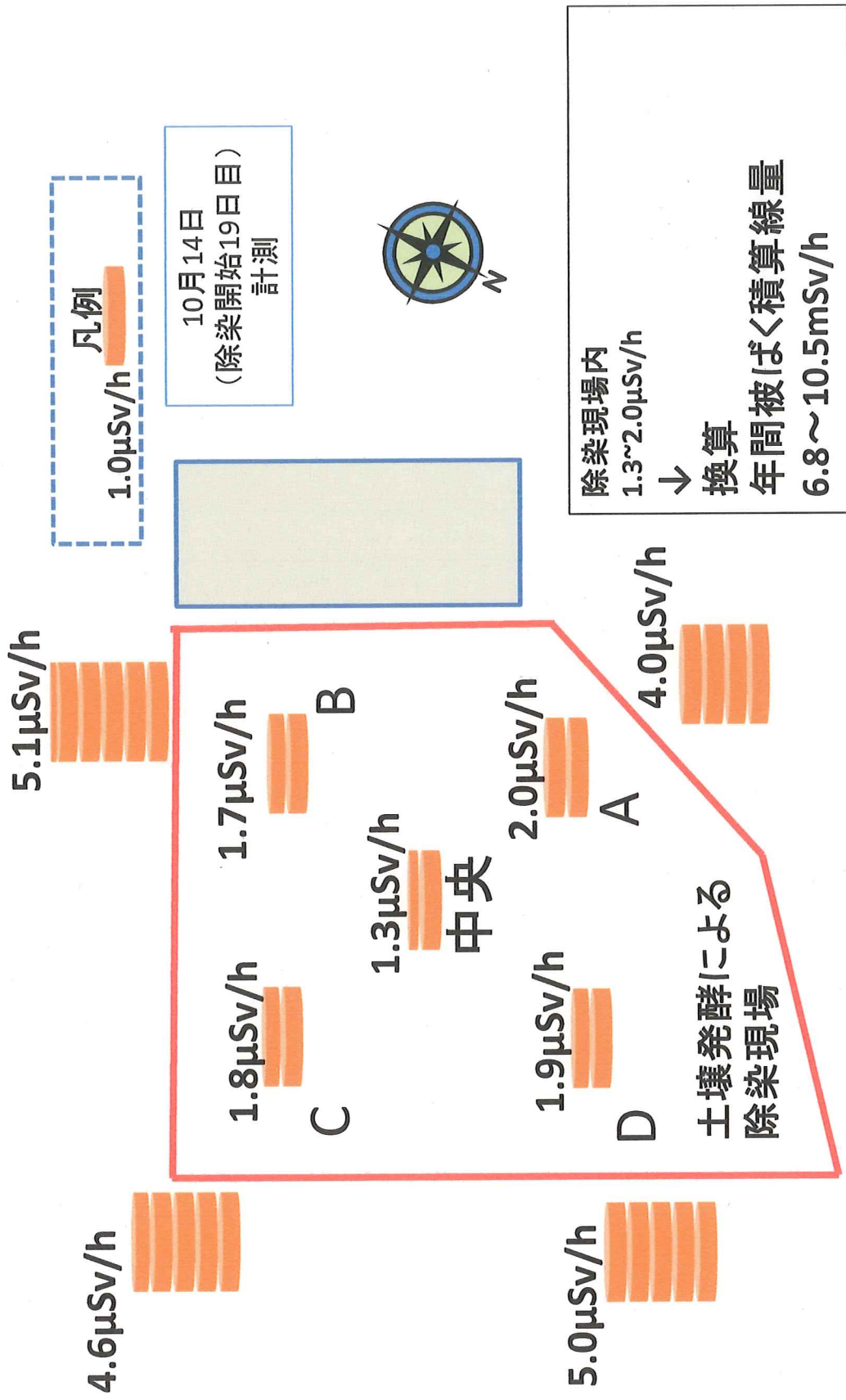
土壌採取者 松原章五(東海プラント分析(株))
土壌採取立会 梶田昌史(信州大学工学部技術部)

文部科学省放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリー」及び、放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理方法」に準ずる方法

ゲルマニウムスペクトル核種分析結果、対照地は除染現場内各地点の様な放射性物質量の軽減はみられない

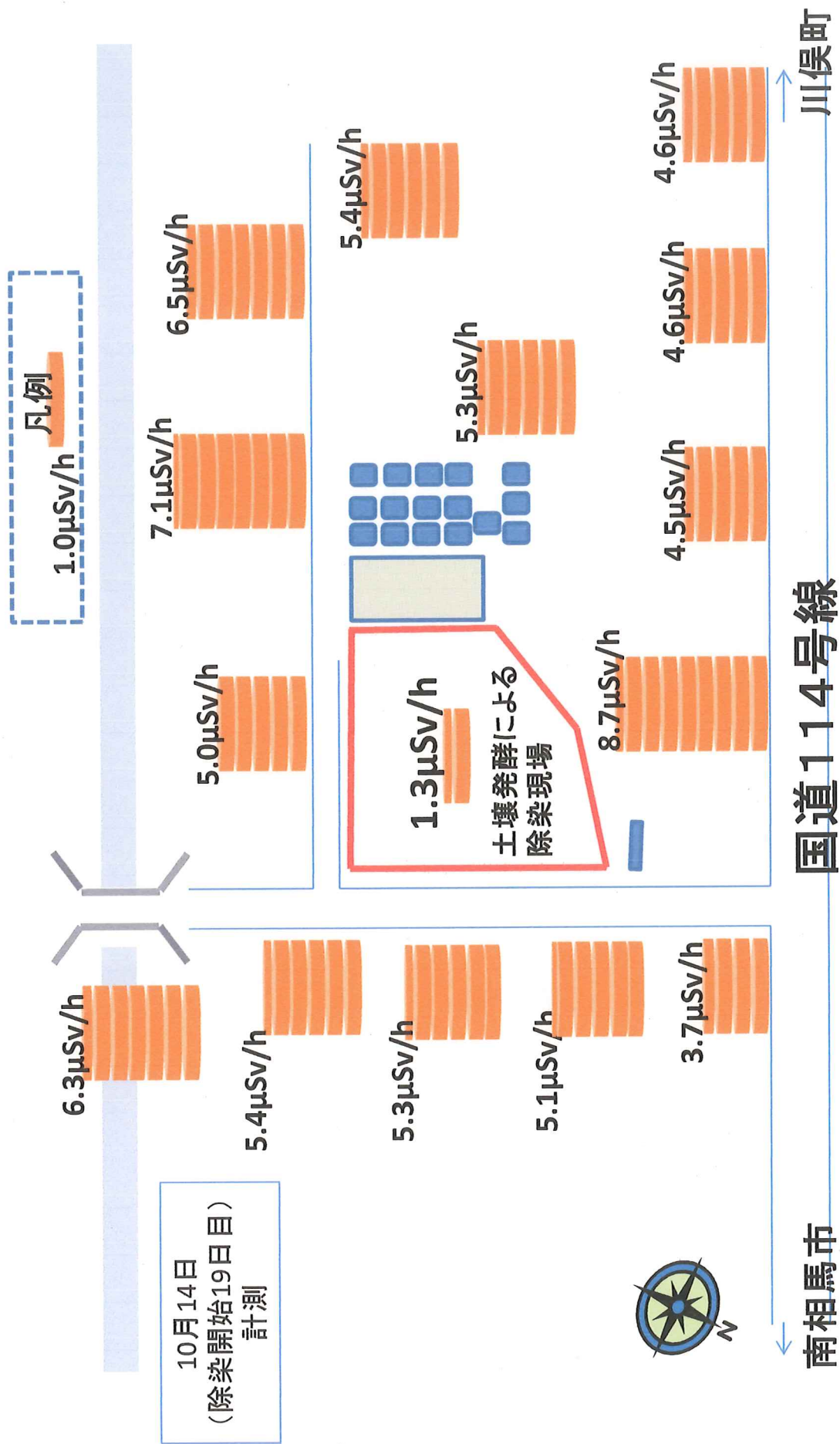
空間放射線量の状況

除染現場内の空間放射線量値(地上1m)



空間放射線量(地上1m)について現場内中央が一番低い

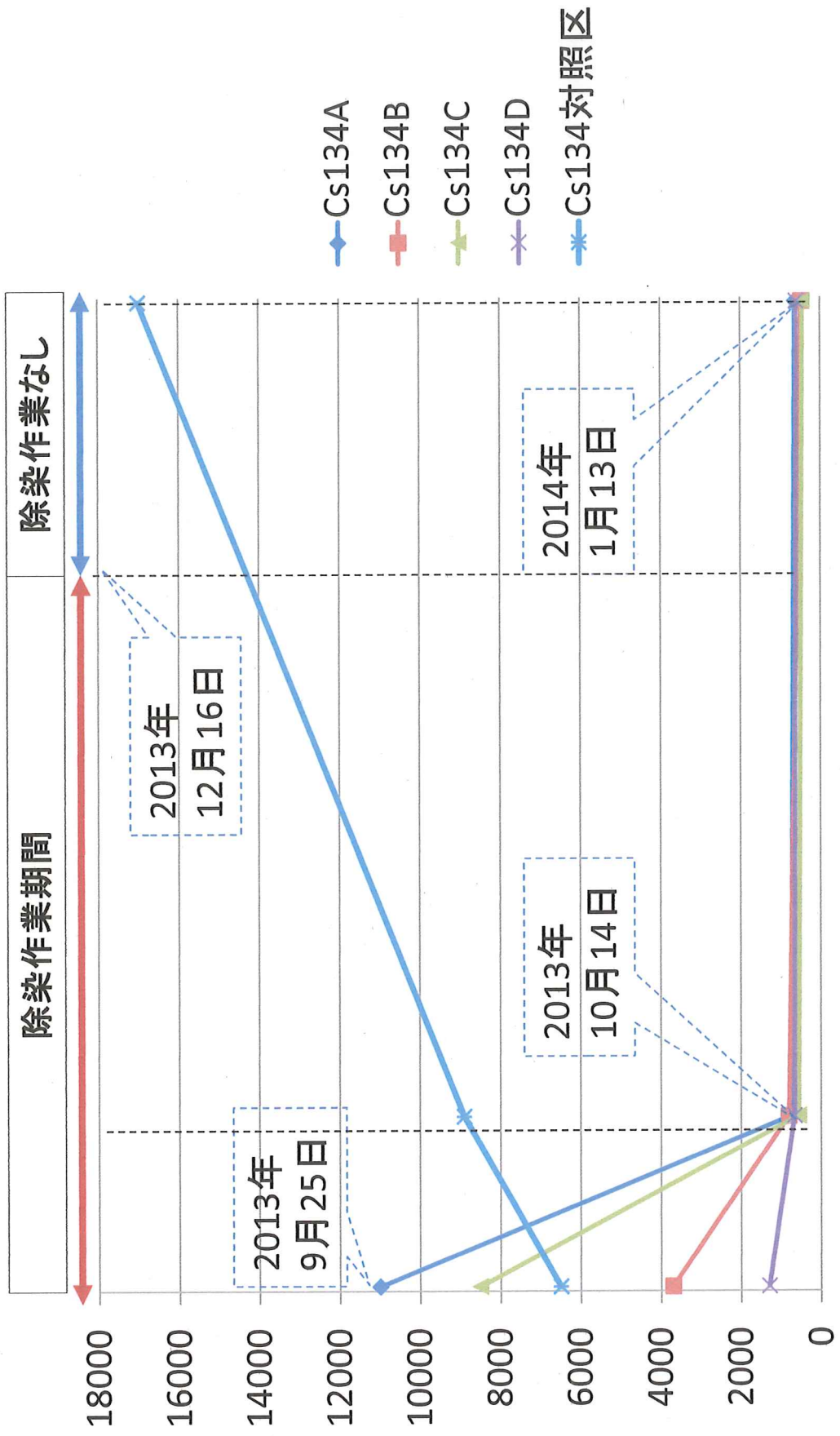
除染現場近傍の空間放射線量値(地上1m)



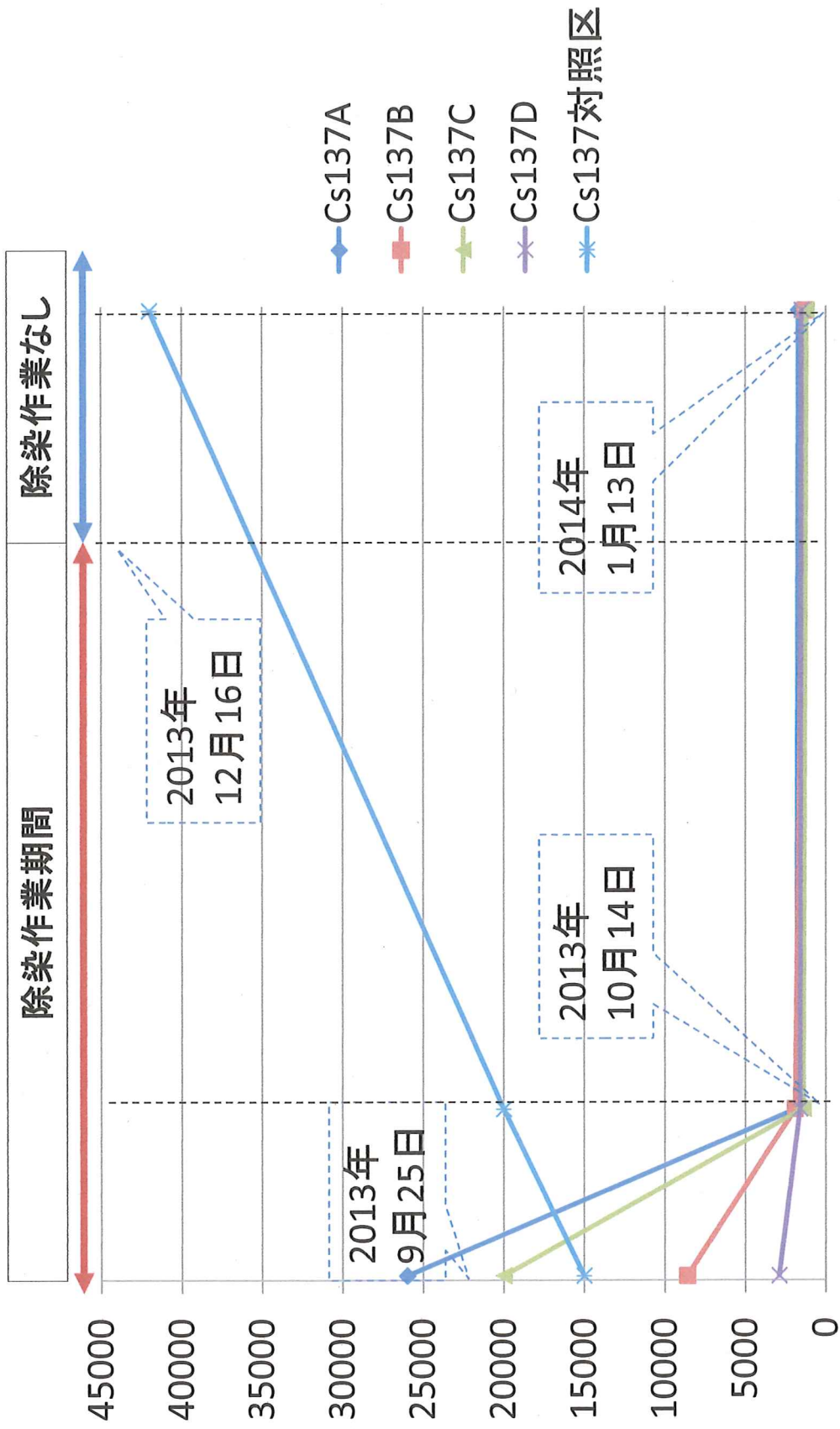
除染現場中央では除染現場近傍の1/3程度以下となった

放射能測定結果報告

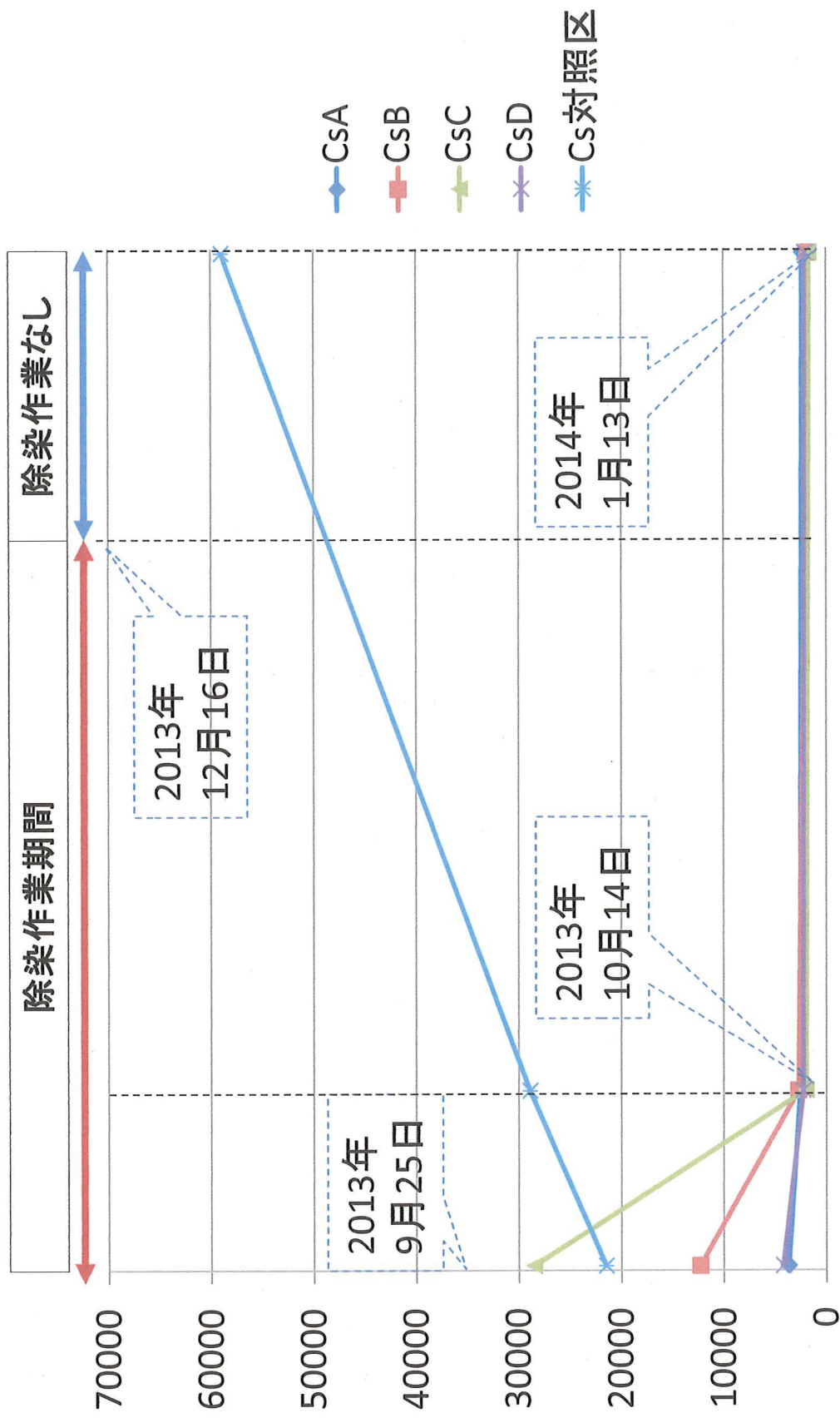
除染作業後の核種分析Cs134



除染作業後の核種分析Cs137



除染作業後の核種分析Cs合計

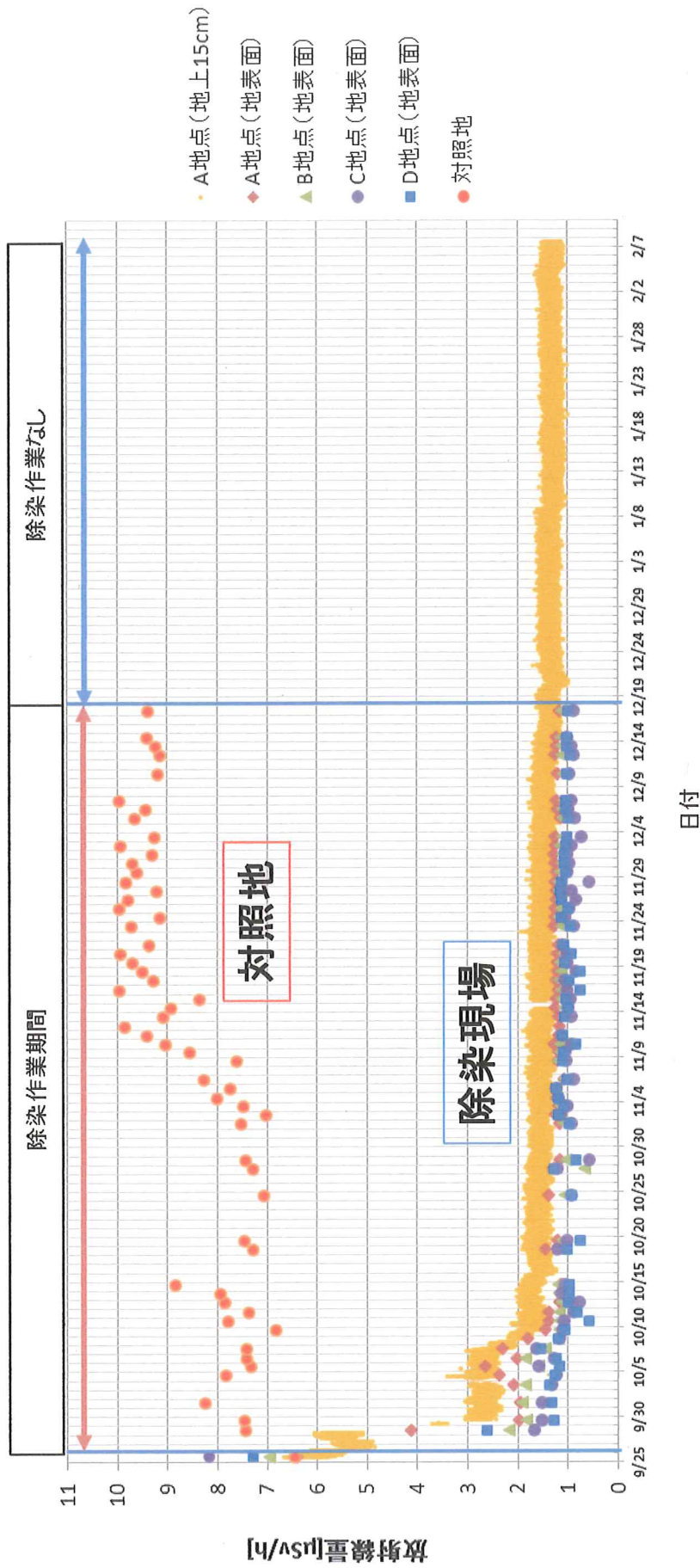


放射線量推移(除染現場および対照地)

2014年2月12日

2013年9月25日(除染作業開始前日)～2014年2月7日の地表放射線量推移

※A地点(地上15cm)は1分毎の放射線量データを記録



除染現場では除染作業期間後も放射線量の増加はみられない⁴⁴

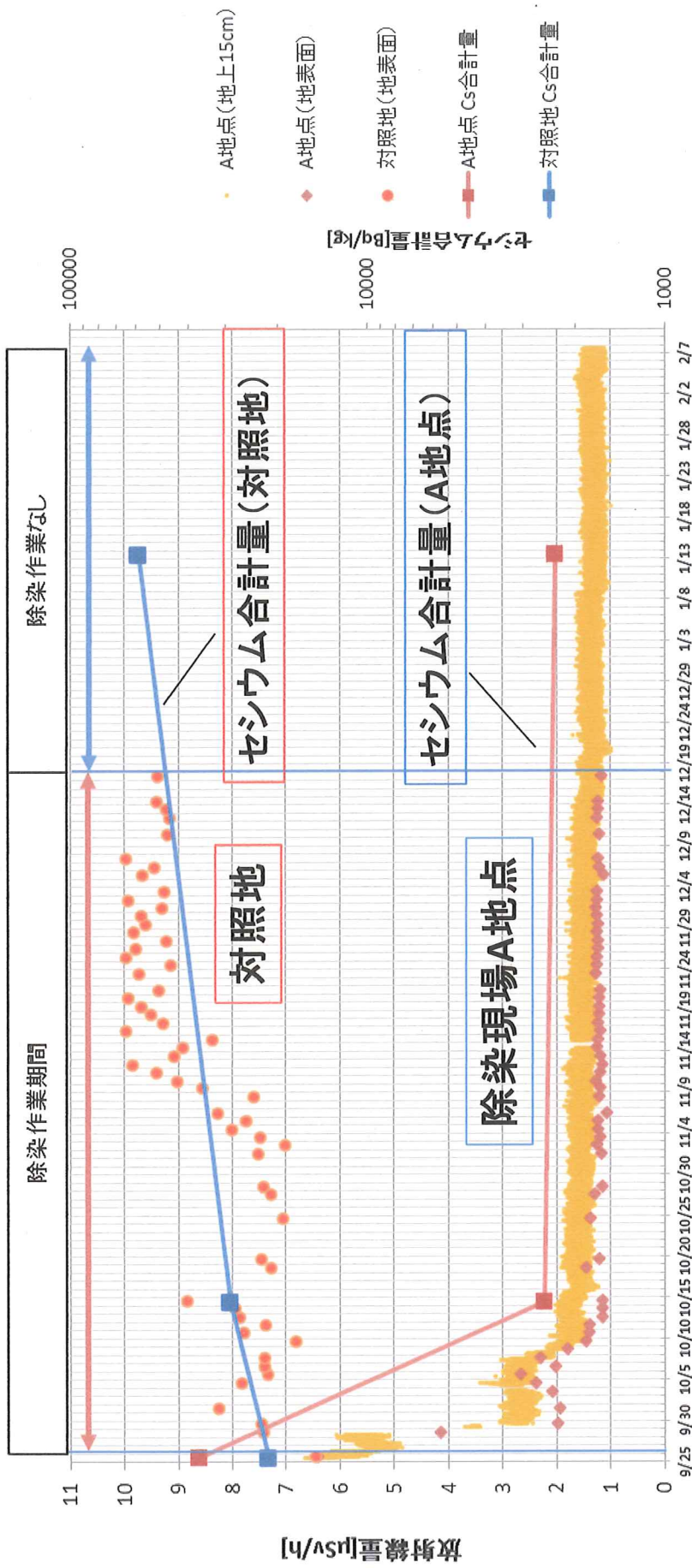
放射線量推移および土壌分析結果推移

2014年2月12日

2013年9月25日(除染作業開始前日)～2014年2月7日の放射線量推移と
土壌核種分析結果(Cs(セシウム)134、137合計量)との比較(A地点および対照地)

※A地点(地上15cm)は1分毎の放射線量データを記録

※Cs合計量は放射線量と比較のため対数軸にて表記



日付

除染現場土壌中のセシウム量の減少により、放射線量が低減